



自治体デジタル民主主義

鳥取県が推進する

情報的健康プロジェクト

2026.03.15

とっとり発！

情報的健康全国フォーラム

鳥取県  デジタル局
局長 下田耕作

- インターネットやSNS、マルチモーダルな生成AIの普及拡大により、真偽不明情報、偽・誤情報に惑わされるリスク、社会混乱のリスクが増大
- 闇バイト、特殊詐欺等の犯罪や、人権侵害等、年齢や性別を問わず、誰もが被害者、あるいは加害者になりうるリスクの高まり



民意が歪められかねないリスクも...

**民主主義や地方自治の本旨を踏まえ、
地方自治体として、どう向き合うべきか**

令和5年9月15日 『先端技術と民主主義のあり方を考える研究会』設置

生成AIをはじめとした先端技術やインターネット社会が急速に進展する中、人口減少や少子高齢化に直面する地方自治体における、民主主義や地方自治の本旨を考慮した適正な行政運営のあり方について研究

自治体としてあるべきスタンス、先端技術活用に伴う倫理面を含めた課題・リスク等やそれらを乗り越えるための方策・留意点を論点に、合計7回(計14時間)にわたって熱心に議論

研究成果

生成AI、AIチャットボット、ウェアラブル、SNS、メタバース、ビッグデータ、...

9名の有識者で構成



- [法 学] 慶応義塾大学 大学院 教授 山本龍彦 【敬称略】
- [工 学] 東京大学 大学院 教授 鳥海不二夫
- [行政学] 明治大学 教授 横田明美
- [情報学] 中央大学 教授 石井夏生
- [行 政] 静岡県立大学 教授 小西 敦
- [憲法学] 北九州市立大学 准教授 山本健人
- [行政情報] 行政情報システム研究所 主任研究員 狩野英司
- [ダイバシティ] 21世紀職業財団 会長 定塚由美子
- [一 般] 米子市元町通り商店街振興組合 理事 亀井智子

令和6年4月26日 自治体における倫理面の向き合い方を 取りまとめた**研究会報告書** 一人間主導のデジタル社会へを公表

鳥取県 先端技術と民主主義

共通する重要な視点を整理し、 「自治体デジタル倫理原則」を提言

「自治体デジタル倫理原則 ～人間主導の原則～」

民主主義や地方自治の本旨を踏まえ、
地方自治体がデジタル社会に対応する上で、**行政運営に必要な視点を10の原則として整理**

① 住民自治の原則

地域のことは、住民の意思に基づいて検討や議論を重ね、決定することが原則である。生成AIをはじめとする先端技術の活用にあたっては、このような民主主義や地方自治の要諦が揺らがないよう、適正な活用に徹すること

② 人権保障の原則

- 生成AIをはじめとする先端技術の活用にあたっては、利用目的をできる限り特定し、その達成に必要な範囲において個人情報収集するとともに、当該利用目的に限定して利用するなど、個人情報保護を含め住民の人権を守り、人権保障を具体化していく視点に立って厳正に行うこと
- SNS等においても、同様に住民の人権を守り、人権保障を具体化していく視点に立って、対策を講じること

③ インクルーシブの原則

生成AIをはじめとする先端技術は、ジェンダーや性的マイノリティに配慮するなど多様な人々が互いに尊重される社会を実現するために活用されなければならず、偏見等を生まないよう運用するとともに、住民に寄り添い、誰一人取り残されない行政サービスを提供するように配慮すること

④ パートナーシップの原則

生成AIをはじめとする先端技術の活用にあたっては、住民を含めた多様なステークホルダーと緊密に協働・連携し、互いに補完し合い高め合うことにより、地域社会の効用最大化を図ること

⑤ 課題解決志向の原則

デジタル技術の導入や活用を目的化せず、住民等の一連の行動に着目して真の課題の把握やニーズの抽出を行うことにより、住民等が抱える課題を解決し、ウェルビーイングに繋がる有効な方策を総合的にデザインすること

⑥ 人間主導の原則

地方自治体が行う意思決定を生成AIをはじめとする技術が出力した結果のみに依拠することは排し、出力結果を人間が的確にチェックすることが担保されるよう人間が責任をもって精査し、人間の判断で決定する仕組みとすること

⑦ リテラシーの原則

- 職員がデジタル技術の特性を理解し、適切に活用するためのリテラシーとスキルの向上を図ること。
- 住民が偽・誤情報に惑わされないよう、住民のフィルターバブル等への理解とネット情報についての批判的思考能力を育成するとともに、住民や地域を守るための情報発信に努めること

⑧ 透明性の原則

住民が生成AIをはじめとする先端技術の活用について適切に評価できるよう、活用の状況を明らかにすること。特に、住民等への回答内容にAI等の出力結果が結びついている場合は、その旨を明示するなど説明責任を果たすこと

⑨ ガバナンスの原則

生成AIをはじめとする先端技術の適切な活用に向け、デジタル施策の実施状況や結果・評価を把握して効果を検証するとともに、AIのロジックや出力傾向等を把握した上で適正に管理する仕組みを構築して、適切に運用し改善していくこと

⑩ 機敏性の原則

生成AIをはじめとする先端技術は急速に発展していくものと想定される。こうした変化に伴いルール等を見直す機会を整え、大胆かつ積極的に先端技術を取り入れていく視点を持ち、「完全な成功」よりも「試行と改良・再挑戦」を重視し、不断のフィードバックにより、アジャイルで機動的な先端技術の活用推進を図ること

令和6年5月7日

知事をトップに全庁的な推進体制を組織

自治体デジタル倫理原則推進本部

【本部長】 知事 **【副本部長】** 副知事、統轄監
【構成員】 部局長等 **【事務局】** デジタル局



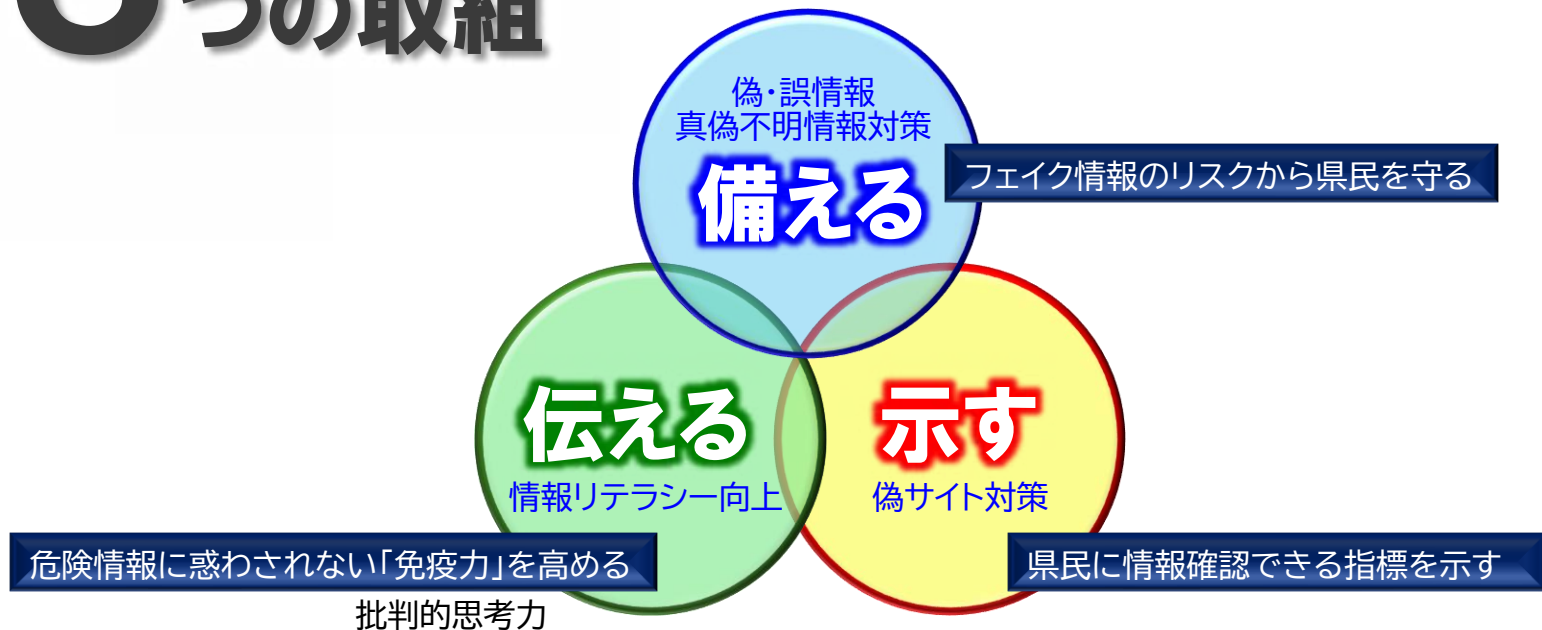
自治体デジタル倫理原則の

確実、かつ、速やかな

庁内実装に取り組む！

県民をネット空間のリスクから守るための

3つの取組



アプローチ ①

備える

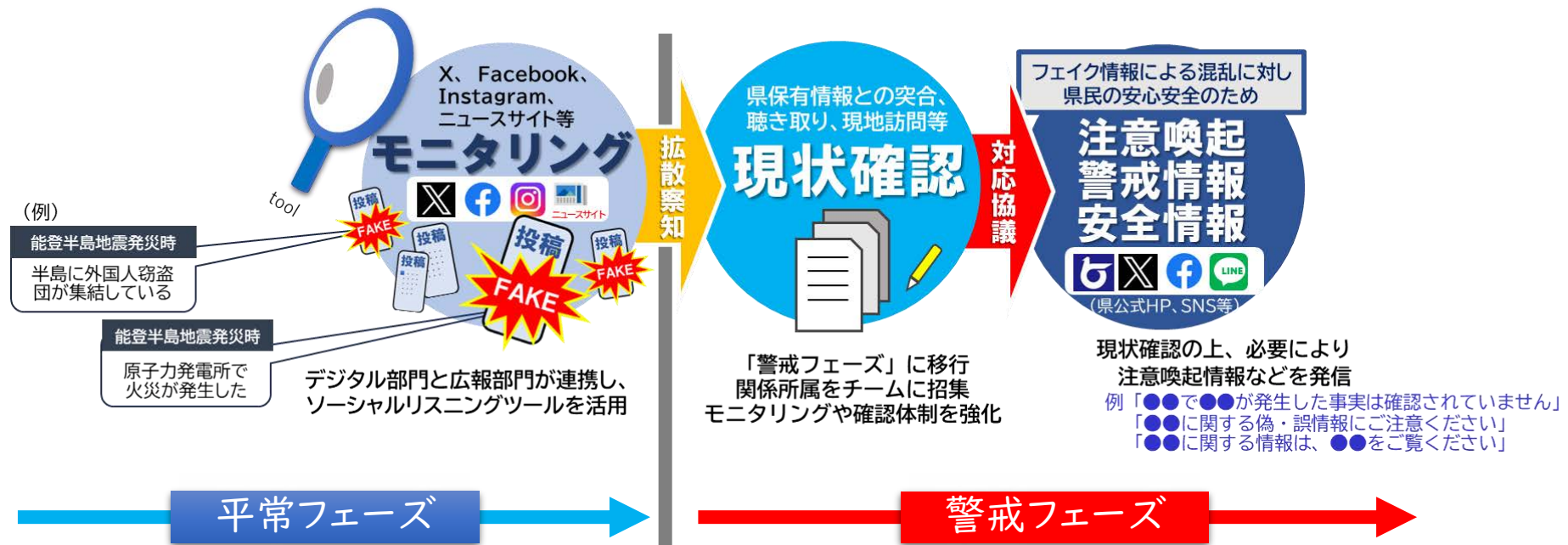
偽誤情報対策

フェイク情報対応実証チーム

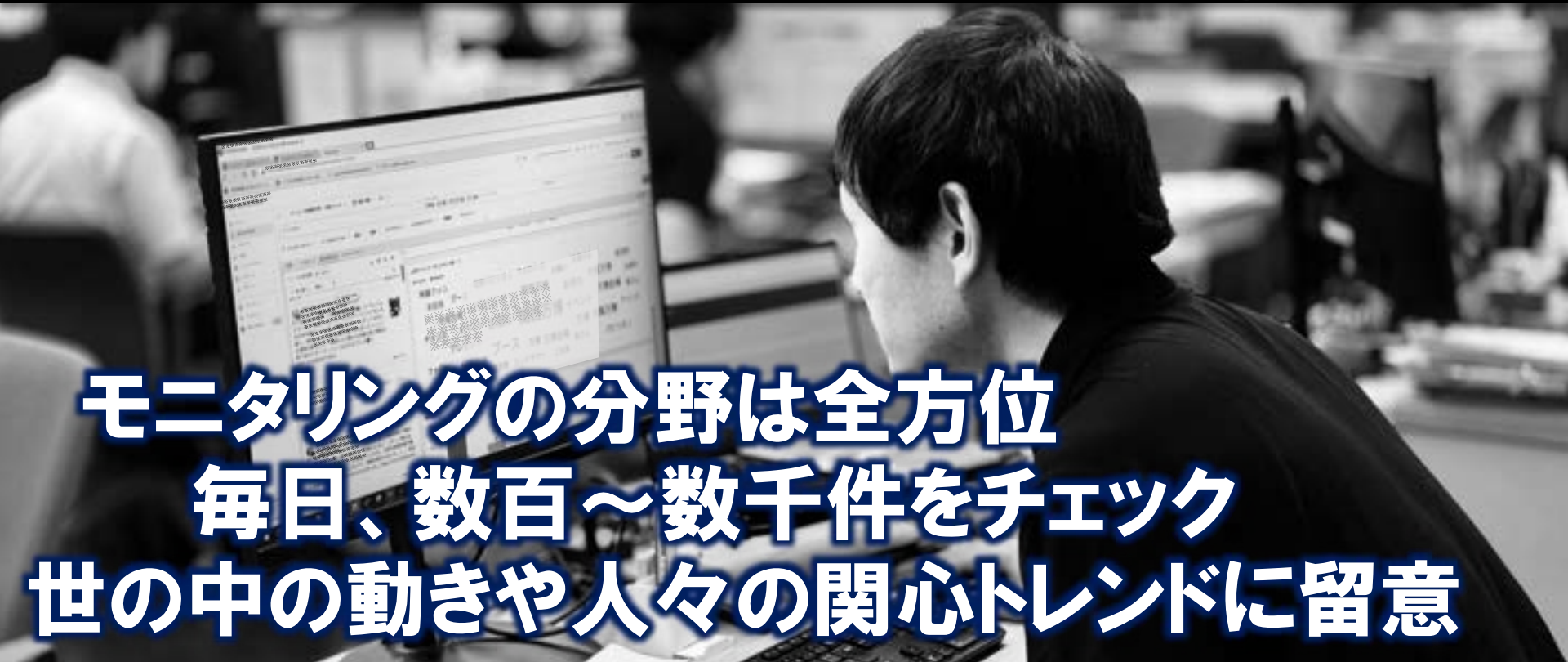
令和6年11月15日、SNSやネットで拡散するフェイク(偽・誤)情報に対する対策として

『フェイク情報対応実証チーム』発足

インターネットやSNS上に偽・誤情報や真偽不明の情報が拡散し、県民生活等に悪影響を及ぼしかねない社会的混乱が発生する兆候がある場合 又は、現に混乱が生じていると認められる場合、県民や地域の安心安全を守るための注意喚起情報等の発信を行う



- 特徴**
- ソーシャルリスニングツール活用による取組の効率化とスピード化
 - フレキシブルな部局横断体制（警戒フェーズ移行時に関係部局の関係課を招集）
 - 外部有識者がチーム活動を監修・支援（適切な対応を担保）
 - 専用データベースを構築し、情報やノウハウの蓄積と継承、職員対応スキル向上を推進



モニタリングの分野は全方位
毎日、数百～数千件をチェック
世の中の動きや人々の関心トレンドに留意

必要となれば、

外部有識者(アドバイザー)にも相談しながら

注意喚起・警戒情報・安全情報を発信

県は、特定の言説に対し、
むやみに否定することはせず、
県が保有する情報や見解等を
上乗せで発信するイメージ

(例) ●●で、●●が発生した事実は確認されていません
●●に関する偽・誤情報に注意してください
●●に関する情報は、●●をご確認ください

※発信の際は、県公式HP、県公式SNS等を活用

令和8年1月6日 鳥根県東部を 震源とする 地震発生



長周期地震動 階級 **4** (最大級)

知事をトップとする災害対策本部設置

鳥取県内 最大震度 **5強**

チームは警戒フェーズに移行 / 現実と異なる投稿を複数発見 ⇒ 情報共有

○フェイク情報対応実証チーム
昨日より警戒フェーズに移行し、モニタリングを強化中
これまでに、生成AI技術(動画生成アプリ)で作成されたとされる、現実とは異なる投稿を複数確認 ⇒ 人々が真偽不明情報に惑わされるリスクの高まり

例1 TikTok/湊山公園? 【1/7 投稿】

現実の湊山公園 【1/7(12時) 米子市職員撮影】

1/6 発災時一部に凍状化

○フェイク情報対応実証チーム
昨日より警戒フェーズに移行し、モニタリングを強化中
これまでに、生成AI技術(動画生成アプリ)で作成されたとされる、現実とは異なる投稿を複数確認 ⇒ 人々が真偽不明情報に惑わされるリスクの高まり

例2 TikTok/鳥取砂丘 【1/6 投稿】

現実の鳥取砂丘 【1/7(11時) 鳥取砂丘レンジャー撮影】

人々が偽・誤情報に惑わされるリスクの高まり

SNSの拡散スピードは速い／対応はスピードが重要 原則、発見したその日のうちに「注意情報」を発信

災害ディープフェイクの例



令和8年1月6日(火)に鳥根県東部を震源とする最大震度5強を観測する地震が発生した後、SNS等において地震に関連する投稿が急増しています。多くが被災地や被災者を気遣っておられる投稿ですが、生成AI技術で作成されたと思われる、本県が確認した現地の現状とは異なる投稿も複数確認しています。

(例: 実際には地震の被害が確認されていない鳥取砂丘が、あたかも危険な場所であるかのような誤解を招きかねない投稿など)

誰でも簡単に、本物か見分けの付かない画像や動画を作り、SNSで発信できる時代です

SNSやネット空間の情報の中にも、偽情報や誤情報、真偽不明情報が溢れています

情報を確認せず、鵜呑みにすることは危険です

偽・誤情報、真偽不明情報に惑わされないよう、情報の安全性とバランスにご留意ください

[情報の安全性] …… 情報は正しいのか、情報発信者は誰か、いつの情報なのか

[情報のバランス] …… 他の媒体ではどう報じられているか、他者はどう見ているか

この度の地震に関連する情報は、鳥取県や各市町村の公式ホームページ等をご確認ください



アプローチ②

示す

偽サイト対策

オリジネータープロファイル(OP)



2025.12月
首相官邸



2025.10月
米子市

偽サイトなどのリスクから県民を守るための新たなチャレンジ

～ 健全な民主主義・地方自治のための、健全なインターネット空間の実現に向けて～



画像出典: オリジネーター・プロフィール
https://originator-profile.org/ja-JP/

ORIGINATOR PROFILE

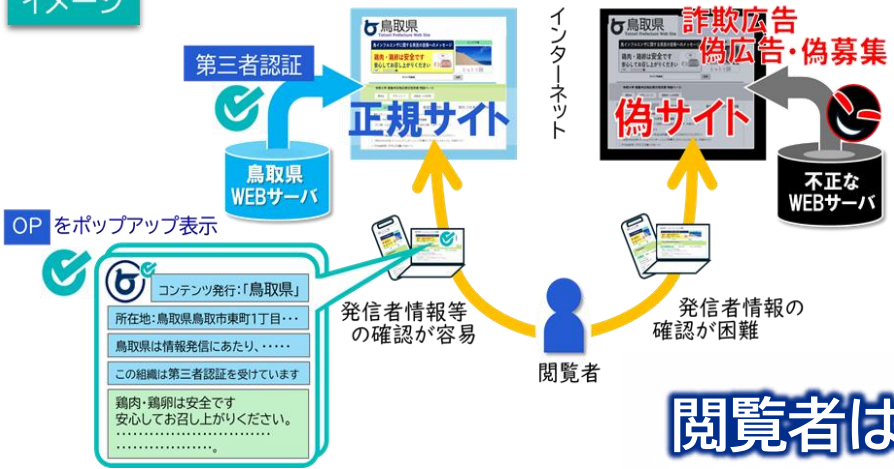
オリジネーター・プロフィール (OP) は、Originator Profile技術研究組合 (OP 組合) が、インターネット空間の健全性、公益性を高めることを目指して開発中の技術であり、世界標準を目指す日本発の新プロジェクト

行政初

県公式ホームページ(とりネット)へのOP技術導入に向け、全国に先駆け、OP組合が取り組む実証事業に参画

健全なインターネット空間の実現、県民の安心安全を目指し、鳥取県をフィールドに、2025年1月～3月までOP実証を実施

イメージ



OPは、コンテンツの内容に対して正誤判定するものではなく、

- コンテンツの発信者が誰か？
- コンテンツの作成者が誰か？
- コンテンツが改ざんされていないか？

を閲覧者が確認できるようにする新技術

閲覧者は、情報の真正性を判断しやすくなる

アプローチ ③

伝える

県民の情報リテラシー向上
情報の健康プロジェクト



県庁一丸となって推進

デジタル局 … 偽・誤情報に対する総合的な普及啓発 & PJの全体調整

子ども家庭部 … ネット・SNSの脅威から子どもたちを守るための対策

人権尊重社会推進局 … 誹謗中傷等の人権侵害への対策

生活環境部 … 闇バイト等の犯罪被害・加担防止対策

地域社会振興部・教育委員会 … 主権者教育の推進

教育委員会 … ICTのより良い使い手となる教育の推進

男女協働未来創造本部 … フェミサイド対策

警察本部 … 特殊詐欺、インターネット犯罪等への対策



情報は、食べ物のように毎日体に取り入れるもの だからこそ、摂取バランスや正確性を見極める習慣が大切 9.12から「スクールキャラバン」をスタート (鳥取大学、鳥取湖陵高校、鹿野学園中学など計9校を訪問)

スクールキャラバン 3の特徴

「スクールキャラバン2025」では、参加していただく生徒・学生の皆さんに、大きく3つの「ここでしかできない」体験をお届けします。あなたの創造力や情報検証力が試されるこの機会をお見逃しなく!!

01 謎解きゲーム「レイのブログ」

世界10ヵ国、累計約50,000人が熱狂したファクトチェック謎解き「レイのブログ」が、今年ついに鳥取に上陸。仲間と協力して、物語に隠された「嘘」を「検索の力」で見極める!



02 生成AIフェイクを知る

生成AIの発展によって、偽の画像や動画が誰でも簡単に作成できるようになりました。このイベントでは、「フェイクを作る側」に立って生成AIを操作することで、AIの限界や特徴を体験的に理解します。

03 動画企画アイデアソン

スクールキャラバンを通じて、参加者は「情報空間」がテーマの動画企画を制作! 最後には、考えた企画がCMに採用されるかも!? ネット空間に生じる社会課題を、キミのアイデアで解決せよ!

“ここでしかできない”体験を、あなたのキャンパスで。

鳥取県 SCHOOL CARAVAN キャラバン

SCHOOL CARAVAN 2025



食はカラダをつくる 情報はココロをつくる



参加者の声

- この世にフェイクが溢れる理由がわかった！
- 災害やスcoopなどは、ファクトチェックしようと思った！
- SNS等の情報を鵜呑みにしないようにしようと思った！



- ① 情報の真偽の見極め方、危険性等を学習ツール(「レイのブログ」、「レイの失踪」)を活用し、謎解きゲームで学ぶワークショップ
- ② 学生の感性で、県民向けの啓発ショート動画を作成するアイデアソン など(県公式SNS等に活用)

鳥取県が世界大会「ユースファクトチェック選手権2025」への出場を応援

過去問題 & 最新事例を基に

楽しみながら学ぶ **スキルアップ講座**

世界大会出場支援!!

ユースファクトチェック選手権 2025
Youth Verification Challenge 2025

スキルアップ講座 in 鳥取

11.23日 13:00~15:00

[申込方法]

事前申込制(参加費無料)
*対面/オンライン可

締切:11/21(金)午後5時

[会場]

After Hours
(鳥取市木成温泉町401日乃丸温泉ビル4-2F)

[主催/お問い合わせ先]

鳥取県

令和の改新戦略本部デジタル局デジタル改革課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

メール: jouchou@pref.tottori.lg.jp TEL: 0857-26-8319



*本大会申込は別途申請



2025年11月29日(土) 2025年12月13日(土)



全国大会

まずは日本中のライバルとバトル。2-3名のチームで協力しながら、生成AIフェイクや場所特定など、専門的なスキルを学び、競います。



世界大会

ついに舞台は世界。ファクトチェックの「正確さ」と「早さ」を世界の强者たちと競います。入賞チームには豪華賞金も!

主催:  CLASSROOM ADVENTURE

世界一を目指し 鳥取県から 全国大会へ 5チーム12名 出場!



最後に

県民、地域の安心安全を守るのは地方自治体の重要な責務
 今後も、時代の変化、関心トレンド等に留意しながら、
 引き続き「**備える**」、「**示す**」、「**伝える**」の3本柱で、
インターネット空間の脅威に強い鳥取県を目指す

偽情報拡散による混乱防止 **備える**

情報の発信者が誰か確認できる指標 **示す**

情報に触れる際の留意点 **伝える**

**偽誤情報に惑わされない免疫力を高めて頂くための
 「情報的健康」を、今後もさらに推進する**

鳥取県 情報的健康

検索



<https://www.pref.tottori.lg.jp/324113.htm>



ご清聴ありがとうございました m(_ _)m